



【今日のテーマ聖句】

「だから、キリストと結ばれる人はだれでも、新しく創造された者なのです。古いものは過ぎ去り、新しいものが生じた。」

(コリント2・5:17)

2019年1月13日(日)

19歳のときにイエスに心をささげたとき、わたしの人生は変えられました。聖書研究と祈りが日課になりました。祈禱会、聖書研究グループ、安息日学校、礼拝など、どこでも神のみ言葉が語られるところに参加することがわたしの楽しみでした。イエス様の存在をもっともっと必要としていたのです。キリストで満たされるほど、音楽やエンターテインメント、服装、そしてその他すべてのものへの興味は変わっていったのです。わたしの敬愛する安息日学校の教師はよく、わたしたちがキリストにすべてをゆだねるとき、そして人生を彼の働きのためにささげるとき、「もはや、彼らは〔私たちは〕以前の欲望に従って歩まず、神のみ子を信じてそのみ足跡にならって歩み、そのご品性を反映しながら……以前には嫌っていたものを今は愛するようになり、かつて愛していたものは嫌うようになります」(『キリストへの道』81ページ〔 〕内は変更あり)と言っていました。

わたしはこの言葉の通りのことを経験しました。キリストがわたしを愛し、赦してくださいましたこと、そして、わたしを清めて大切に思っておられることをすべての人に伝えたいという願いがわたしの中に生まれました。

「人は、ひとたびキリストに来るやいなや、イエスはいかに尊い友であるかを他の人に知らせたいと望みます。人を救い、清める真理は、どうしても心のうちに秘めておくことはできません。私どもがキリストの義の衣をまとい、内住する聖霊の喜びで満たされているならば、黙っていることはできないはずです。もし主の恵みを味わい悟ることができたならば、何か言いたくなるものです。」(『キリストへの道』111ページ)

どこから始めたらよいか、わたしにはまったくわかりませんでしたので、神に祈り、どうしたら良いのかと問いかけました。「ただで受けたのだから、ただで与えなさい」(マタイ10:8)という聖句が深く印象付けられました。これを口先だけで言うのは簡単です。なにを伝えればいいのか、とわたしは考えました。そして、ディポジションをしているときに、この言葉に出会いました。

「だが彼ら〔悪霊に取りつかれた人〕は、自分

自身のうちにイエスがメシヤであるという証拠を持っていた。彼らは知っていることを語ることができた。キリストの力について自分自身が目に見、耳に聞き、心に感じたことを語ることができた。これこそキリストの恵みにふれたことのある人ならだれでもできることである。…キリストの約束を試みて、その約束が真実であったことを語ることができる。キリストの恵みについて知ったことをあかしすることができる。これこそ主が求めておられるあかしであって、このあかしが欠けているために、世の人々は滅びつつあるのである。」

(『希望への光』844、845ページ)

わたしは主が証しする機会をくださるのを待ちました。

すると、わたしがあるオフィスの受付係として働いていたとき、テレビを通してひどいハリケーンがフロリダ州を襲い、大西洋沿岸を北上し、南北カロライナ州に近づいているとのニュースが流れてきました。ニュースを見続けていると、同僚のジンジャーが「いったいなにが起きているの？ 世の中がおかしいわ！」と言いました。とっさにわたしは「イエス様が来られるんだよ！」と言っていました。その職場で長く働いていたわけではなかったので、そのような言葉が自然と出てきたことに自分でも驚きました。わたしはその後、自分の席に戻りました。ジンジャーはわたしの机のほうに椅子を寄せて、「そのイエスが来るとか言うことについて教えて。知りたいの！」と言いました。祈りのうちに、イエスの再臨について、わたしがイエスを友人として知っており、地上に来られる準備をしていることについて、短い聖書研究をしました。そして、彼女も同じく準備をするように招きました。主は伝道をするために扉を開いてくださり、わたしは従ったのです。

神は40年間も共に働く特権をあたえてくださっています。バイブルワーカーになったり、全寮制のアドベンチストの学校で6年間聖書を教えたり、フィリピンにて何千人もの前で説教をしたり、祈禱週にて何百人もの生徒の前で証ししたり、女性大会、キャンプミーティング、教会などのセミナーで話したりする機会をくださ

っています。これらは神様がどのようなことをしてくださったかを共有するすばらしい機会ですが、最も効果的な伝道方法は人々に哀れみを持って接し、必要に応え、彼らの信頼を勝ち取ることです。そうすればキリストに従うように招くことができるのです。

「花婿を待ち望んでいる者は、『あなたがたの

神を見よ』と、人々に言わなければならない。憐れみに満ちた最後の光、世界に伝えるべき最後の憐れみの使命は、神の愛の啓示である。神の子らは、神の栄光をあらわさなければならない。彼らは、その生活と品性において、神の恵みが彼らのためにどんなことをなしたかを表さなければならない。」(『希望への光』1350 ページ)

## 祈りの時間の進め方の提案

※集会の時間に合わせて項目を減らしても構いません

### 【賛美の祈り】

- 主よ、わたしたちを変えてくださったことを賛美いたします。わたしたちは新しく創造された者です！
- あなたにあって平安があることを賛美いたします（イザヤ 49：16）。
- 日ごとの恵みを賛美いたします。

### 【告白の祈り】

恐れてしまい、信仰を分かち合わなかったことをお赦してください。良き証しをするためには、あなたの力が必要であることを告白いたします。主よ、あなたを証しするうえで障害となるものがあれば、それをお示してください。あなたの愛の品性を他の人々に示さなかったことをお赦してください。

### 【嘆願と執り成しの祈り】

- 主よ、心のつかれている伝道者に新たな力をあたえてください。あなたのみ心を行っていると示してあげてください。一人の魂だけであっても、働きの実りを見せてください。
- 世界中の都市伝道センター（クリニックや教会、さまざまなミニストリーをまとめた伝道の拠点）、健康や家庭のためのプログラム、パスファインダーなどを導いてくださるよう祈ります。
- 都市伝道により多くの青年が献身するように祈ります。
- わたしたちが教会員を愛し、育てていくことができるように祈ります。
- わたしたちの地域に真理の本（印刷物や電子媒体）をどのように届ければ良いのかをお示してください。人々がそれらを読み、聖霊によって聖書の真理を信じるに至りますように。
- 主よ、危険な地域で働く宣教師を守ってくださいますよう祈ります。
- 文書伝道者、学生ボランティア、著者、メディアの専門家、財政的支援者を興してくださり、希望と命のみ言葉が伝えられますように。
- 祈りのリストにある7名のために祈ります。彼らの人生で力強くお働きください。ヨハネ 1・5：16 の約束を信じます。

### 【感謝の祈り】

- あなたのみ心のままにわたしたちの祈りに答えてくださることを感謝いたします。
- あなたを伝えるためにわたしたちをお用いくださり、感謝いたします。
- あなたの約束が真実で信頼できるものであることを感謝いたします。

### 【日本の伝道のための祈り】

- 昨年、日本における全員参加伝道でまかれた真理の種のために。
- 日本のために働き、そして祈る、働き手を送ってくださいますように。

### 【推奨する讃美歌】

希望の讃美歌 238 番 「いともかしこし」

希望の讃美歌 309 番 「十字架を高くかかげ」

希望の讃美歌 329 番 「主の言葉の光のうち」

### 【神様の約束】

- 「言うべきことは、聖霊がそのときに教えてくださる。」（ルカ 12：12）
- 「そのように、わたしの口から出るわたしの言葉も／むなしくは、わたしのもとに戻らない。それはわたしの望むことを成し遂げ／わたしが与えた使命を必ず果たす。」（イザヤ 55：11）
- 「心の中でキリストを主とあがめなさい。あなたがたの抱いている希望について説明を要求する人には、いつでも弁明できるように備えていなさい。」（ペテロ 1・3：15）